



令和3年度(2021年度)学校教育目標

自ら学び、心豊かに、たくましく未来を切り拓く生徒の育成



校訓【自主・友愛・健康】

玉名市立天水中学校だより 第1号

進級、新入学おめでとうございます

———始業式(8日)や入学式(9日)の式辞で話したこと

天水中学校の生徒の皆さんには、“より広い視野から、より深く考えること”ができる人になってほしい。天水中学校で学んだことが社会に出てからも生かせるようになってほしい。そのための指導・支援をしていくことが学校の果たすべき役割であり、教育活動の意義であると私たち天水中学校の教職員は自覚しています。

特に本校は玉名市教育委員会指定「特別活動」研究推進校として、昨年度から生徒会・職員合同会議等を踏まえ、育成を目指す資質・能力を次の3つに絞って実践研究に取り組んでいます。それらは「発信力」「思考力」「協働力」です。

それらの一つ「思考力」を「身近な課題に気付き、自己や集団をよりよくするために、課題解決方法を話し合い、合意形成、意思決定する力」と本校においては定義付けています。

この「思考力」を身に付けるためには、“より広い視野から、より深く考えること”がポイントです。

そこで、より広い視野から、より深く考えるために参考となる本を紹介しました。それは池田晶子さんの『14歳の君へ』です。これには「どう考えどう生きるか」というサブタイトルが付いています。本校の図書室にあります。

「14歳の君」に限らず、是非一度手に取って読んでみてほしい本です。



世界自閉症啓発デー

～毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー、毎年4/2～4/8は発達障害啓発週間～

第14回世界自閉症啓発デー(令和3年4月2日)に寄せられた厚生労働大臣のメッセージの一部を以下に紹介します。

発達障害は、生まれつきの脳機能の障害によるもので、親のしつけや教育が原因ではありません。その特性は一人ひとり様々であり、自分の得意なことを活かして活躍されている方が数多くおられます。一方で、周囲の理解が十分でないことによって、その行動や態度が「自分勝手な人」、「変わった人」などと誤解され、生きづらさを感じながら生活している方もおられます。発達障害に対する正しい理解が社会に広まれば、周囲の方の接し方も変わり、そうした生きづらさも軽減されると考えています。

一人でも多くの方々の正しい理解が広がり、誰もが幸せを実感できる共生の社会実現に向け、本校でも人権教育や特別支援教育に関する教育・啓発活動を推進していきます。

本年度で本校2年目となります。1年間どうぞよろしくお願いします。

玉名市立天水中学校 校長 福田 賢一

◇本校ホームページも随時更新しています。[天水中学校](#)で[検索](#)➡